

# 「活力に満ちた うるおいとやすらぎのまち」 の実現のために

## 市長就任のごあいさつ

### 所信表明



つくばみらい市長 **飯島 善** (いじま ぜん)

昭和5年12月12日生まれ75歳  
つくばみらい市小張在住

このたび、合併に伴うつくばみらい市長選挙におきまして、多くの市民の皆様から暖かいご支援を賜り、初代市長に就任いたしました。

今、市政の舵取り役としてのその責任の重さを痛感するとともに、身の引き締まる思いでございます。市民の皆様への負託にこたえられるよう、誠心誠意取り組んでまいります。

現在、国・地方自治体を取りまく環境は大変きびしい状況にあります。「21世紀は地方の時代」と言われるように、今後はこれまで以上に地方自治体の果たす役割は重要になってくると考えられます。ご承知のとおり、平成12年の地方分権一括法の施

行を経て新たな段階を迎えており、「国と地方の役割分担や責任分野を明確化する」とともに、地方が責任を持つべき分野について、自己決定と自己責任の原則を徹底すると言われております。

また、地方自治体では、市民に一番身近な医療・福祉・教育などサービスを提供するための「地方分権型システム」を確立する必要があります。そのため、地方自治体の行財政能力の更なるレベルアップが必要不可欠であります。より創造的に、よりスピーディに、より低コストで仕事を完結させることが出来る自治体にならなければなりません。

そこで、私は新生「つくばみらい市」の速やかな一体性の確

保と地域の魅力を高めるまちづくりをするために、具体的施策といたしまして、7項目の柱を立て選挙公約として市民の皆様にご約束いたしました。

- ① 新市の骨格形成と利便性の向上を図ります  
(都市基盤の整備)
- ② 安全で潤いのあるまちづくりをします  
(生活環境の整備)
- ③ やすらぎのまちづくりを進めます  
(保健医療等福祉の充実)
- ④ 学び合いのまちづくりを進めます  
(教育・文化・スポーツの振興)
- ⑤ 活力ある産業を育てるまちづくりを進めます  
(産業の振興)
- ⑥ 住民が主役のまちづくりを進めます  
(コミュニティの醸成)
- ⑦ 成果重視の行財政運営を進めます  
(適正な行財政運営)

この約束を実現するために、限られた予算を効率よく運営していくことが舵取り役を務めと確信しております。

新市においても、これまでの経験を活かし、対話と協調を基本にした住民参加のまちづくりを進めてまいります。そして新市建設の将来像であります、新しいまちを創造する力と、水と緑に囲まれた環境の下でだれもが安心して暮らせる「活力に満ちた うるおいとやすらぎのまち」を実現するため、市民と行政が一体となって明日のつくばみらい市をつくってまいりたいと考えております。市民の皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。市長就任のごあいさつといたします。